

セクハラを生まない 職場コミュニケーション対策

企画／職場のハラスメント研究所

監修・解説／金子雅臣（職場のハラスメント研究所 代表理事）

東京都にて長年労働相談に従事。ルポライターとしても活躍。退職後、労働ジャーナリストとしての多くの執筆活動の傍ら、多くの企業・団体で講演・指導等も手掛ける。2008年に職場のハラスメント研究所を設立

DVD 全2巻 各巻44,000円（税抜40,000円）

全2巻88,000円（税抜80,000円）

字幕選択式 ※送料込、活用ガイド付



シリーズの特徴

- 服装への注意、“社内恋愛”とセクハラなど、“グレー”な事例に対応するための必須教材。
- 近年増加しているコミュニケーション・ギャップ（男性・女性間、上司・部下間など）によるセクハラの実例を多数取り上げ解説。
- セクハラをジャッジする5つの判断ポイントを、分かりやすく解説。
- スマートフォンなどの、メール活用でのコミュニケーションによる危険に言及。
- 女性が加害者になるケースについても紹介。
- 研修資料の作成に役立つ活用ガイド付き。

いまだに後を絶たない職場のセクハラの被害や相談。

セクハラは男女の意識差などからくるコミュニケーション・ギャップに起因して起こるものが多く、中には相手に良かれと思った言動が加害行為に認められたケースもあります。

この教材では、セクハラかどうかをジャッジする新しい判断基準を示しながら、職場で起こりがちな“グレー”な事例を取り上げ、セクハラにならないコミュニケーションのあり方を考えます。

第1巻 コミュニケーションに潜むセクハラ危険

～意識のギャップと日頃の言動～

(25分)

定義から学べる基本的な教材。“グレー”な事例のミニドラマと解説で展開します。

セクハラの実例／対価型セクハラと環境型セクハラ／服装を褒める上司／年齢差別発言とその意図／上司からの休日の電話／軽い気持ちからの誘いのメール／NOが通じない男／男性部下へのからかい／露出の多い服装と職場のルール／お菓子を配るのは誰の役目？／酒の席の“冗談”はどこまでOK？



第2巻 事例で考える職場のコミュニケーションとセクハラ

～あなたの理解で大丈夫？～

(27分)

ディスカッション用の二つの事例と解説で展開する応用的な教材。

事例1 女性部下の服装を気にかける部長

- 部長が部下の女性の服装に言及する際の問題とは？ ● 職場の服装ルールとセクハラの関係
- 課長が相談を受けた場合は、どのように対応するべきか？

事例2 “社内恋愛”がセクハラと言われるとき

- 伝わらない、女性の“NO” ● 恋愛とセクハラのボーダーラインはどこか？
- セクハラをジャッジする5項目 ● コミュニケーション・ギャップによるセクハラをなくすためには

